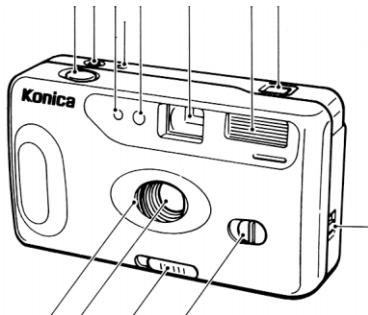
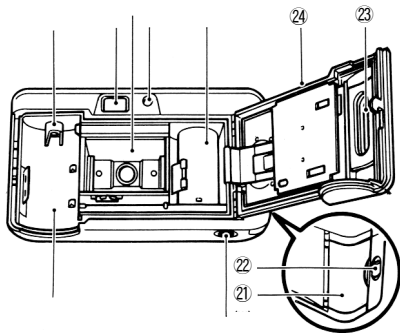
使用説明書

TOP'S 200-P

オートデート機能付

各部の名称

各部の名称

1. LCD フィルムカウンター表示窓
2. フラッシュ発光部
3. ビューファインダー
4. 測光窓
5. 途中巻き戻しボタン
6. セルフタイマー表示ライト
7. セルフタイマーボタン
8. シャッターボタン
9. レンズカバー
10. レンズ
11. パワースイッチ兼レンズカバースイッチ
12. パノラマ切り替えスイッチ
13. 裏ぶた開放レバー

14.フィルム巻き上げローラー
15.フラッシュレディ表示ライト
16.パノラマ切り替えブレード
17.ビューファインダー
18.巻き戻し軸
19.フィルム収納部
20.三脚取り付け穴
21.電池ケースカバー
22.ストラップ取り付け穴
23.フィルム確認窓
24.裏ぶた

ストラップの取付け方／電池の入れ方

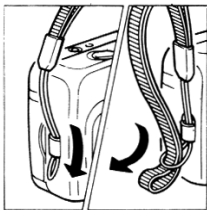



図 1

図 2

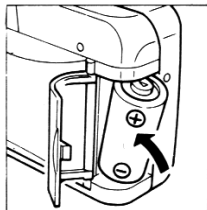



図 3

ストラップの取付け方(図 1)

1. ストラップ先端の輪の部分を取り付け穴(22)に通して下さい。
2. ストラップの逆側の先を取り付け穴に通してある輪の中へ入れてそのまま引き絞って下さい。

電池の入れ方

1. 電池ケースカバー(21)を手前に引いて開けて下さい。(図 2)
2. リチウム電池 3V(CR123A/DL123A 又は同等品)を使用して下さい。
3. 電池を下へ押しながらケースの内へ入れて下さい。(図 3)
   この時(＋)・(－)の方向を正しく入れて下さい。

電池ご使用上の注意

電池の誤用は漏液・発熱・破裂の元となりますので、電池は正しくお使い下さい。
＊ このカメラにはリチウム電池 3V(CR123A/DL123A 又は同等品)をご使用下さい。
＊ 電池は幼児の手の届かない所にしまって下さい。
＊ 電池を分解したり、充電したり、火の中へ入れると大変危険ですのでお止め下さい。
＊ 電池を入れる時は(＋)・(－)の方向を正しくセットして下さい。
方向が逆になるとカメラの故障の原因となることがあります。
＊ 長時間の旅行などにはスペア電池を持っていくと便利です。
＊カメラをご使用にならない時やカバンの中にしまう時にはパワースイッチを切っておいて下さい。

フィルムの入れ方

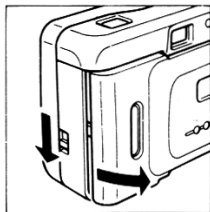



図4

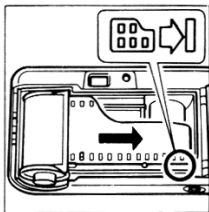



図5

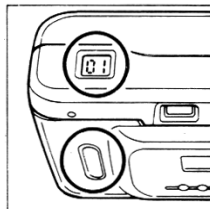
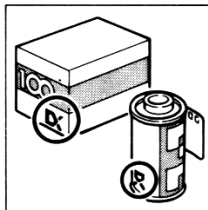



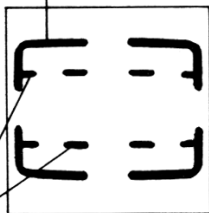
図6

1. フィルムを入れる時はパワースイッチ(11)を切って下さい。
2. 裏ぶた開放レバー(13)を下げて裏ぶた(24)を開けて下さい。**(図４)**
3. フィルムを入れて下さい。
4. フィルムを少し引き出して巻き上げローラー(14)に乗せて下さい。
   この時フィルム先端をエンドマークに合わせて下さい。**(図５)**
5. 裏ぶたを閉めて下さい。
6. パワースイッチをONにするとフィルムは自動的に巻き上げられて１枚目の所で止まります。
   LCDフィルムカウンター(1)に“ 01 ”が表示されれば撮影準備完了です。**(図６)**

＊ フィルムが入っているかどうかはフィルム確認窓(23)で確認できます。

DXフィルムの使用

図7

1. このカメラにはlS0100からlS0400までのDXフィルムをご使用下さい。
   フィルム感度が自動的にセットされます。
2. フィルムの箱等にDXマークがあることをご確認下さい。(図7)

ファインダーについて

撮影方法

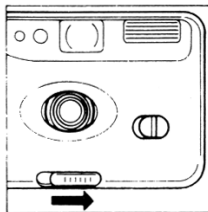



図９

図 10

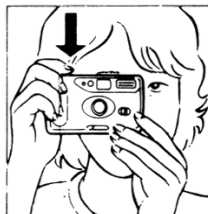



図 11

1. レンズカバースイッチ(11)を矢印の方向へスライドさせてカバーを開けて下さい。(図９)
2. ビューファインダー(17)をのぞいて被写体をファインダー内の撮影範囲フレーム内に合わせて下さい。(図10)
3. シャッターボタン(8)を押して下さい。(図11)
4. 撮影後シャッターボタンをはなすと、フィルムは自動的に１コマ巻き上げられLCDカウンターの表示が１つ進みます。

フラッシュでの撮影

1. 暗い場所でシャッターを押すとフラッシュ(2)が自動的に発光します。
2. フラッシュ撮影適応距離はフィルム感度によって異なりますので下の表を参考にして下さい。

フィルム感度	撮影適応距離
ISO100/200	1.6m～3.4m
ISO400	1.6m～5.3m

3. 一度フラッシュ撮影すると再び充電されて発光可能状態になるまで約６秒かかります。
   充電が完了しますとフラッシュレディ表示ライト(15)が点灯します。
   もし充電に10秒以上かかるような場合は電池が消耗していますので新しい電池に交換して下さい。
4. 充電中はシャッターを切らないで下さい。適正露出が得られません

パノラマでの撮影

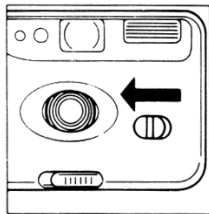



図 12

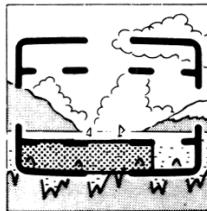



図 13

1. パノラマ切り替えスイッチ(12)をパノラマモードに切り替えて下さい。(図 12)
2. パノラマ撮影では被写体の上下部分がカットされますので、ビューファインダー内部に点線で表示されたパノラマガイド枠内に被写体を合わせて下さい。(図 13)ファインダー内部の下側にオレンジ色のマークが表われます
3. ノーマルモードに戻すにはパノラマ切り替えスイッチをもとに戻して下さい。

露出の合わせ方／セルフタイマーでの撮影

露出の合わせ方

1. このカメラには自動露出機能が内蔵されていますので、撮影時に露出を合わせる必要はありません。

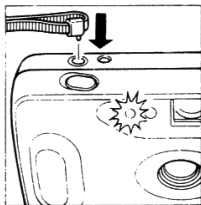



図 14

セルフタイマーでの撮影

このカメラにはセルフタイマーが内蔵されています。

1. カメラを被写体に合わせて下さい。
2. セルフタイマーボタン(７)を押して下さい。
   約 10 秒でシャッターがきれます。
3. セルフタイマーの残り時間が３秒になると、セルフタイマー表示ライト(６)が点滅を始めます。(図 14)
4. セルフタイマー撮影を上手に行なうには三脚の使用をお勧めします。
5. 途中でセルフタイマーを取り消ししたいときにはセルフタイマーボタンをもう一度押して下さい。

フィルムの巻き戻し

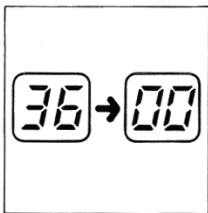



図 15

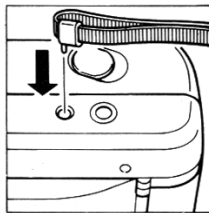
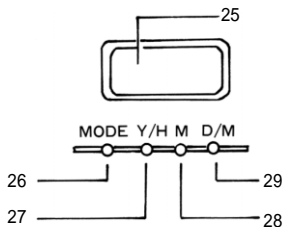



図 16

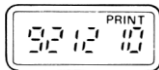
1. フィルムが全コマ撮影終了しますと自動的に巻き戻しが作動します。
   LCDフィルムカウンターが " 00 " に戻りますと巻き戻し完了です。(図15)
2. 裏ぶた開放レバー(13)を下げて裏ぶたを開けて、中のフィルムを取り出して下さい。
3. フィルムの途中で巻き戻したい時は、途中巻き戻しボタン(5)を押して下さい。(図16)巻き戻しが始まります。
   LCDフィルムカウンターが " 00 " に戻りますと巻き戻し完了です。
   巻き戻しの途中で裏ぶたは開けないで下さい。

日付・時刻の写し込み

モードセレクトボタン(26)を一回押すごとにデータ表示が年月日-時分-印刷せずに切り替わりますので、いずれかのモードを選んで下さい。
セレクトボタンを軽く押すと数字が一つずつ進み、強く押すと連続して進みます。

1. 日付の合わせ方

　年・月・日の順になっていますのでセレクトボタン(27/28/29)を押して修正して下さい。
　このカメラには1980年から2019年までのカレンダーが記憶されています。

2. 時刻の合わせ方

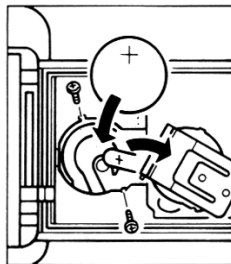
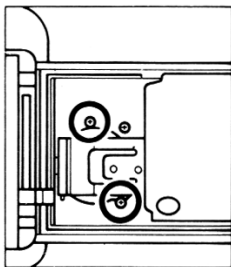
　セレクトボタン(27)で時間を、(29)で分を修正して下さい。
　セレクトボタン(28)は使用しません。
　写真への写し込みの時、時間と分の間のハイフン(－)は表示されません。

注意：

＊ 日付・時刻は内蔵のリチウム電池によって進みますので毎回の修正は不要です。

＊ パノラマ撮影では写真の上下部分がカットされますので日付・時刻の写し込み部分は写真上には出てきません。

＊ 写し込みの部分に黄色・オレンジ色等の明るい被写体がくると、写し込みがよく見えなくなります。

＊ シャッターボタンを押すとデータ表示パネル(25)に1秒間“PRlNT”の表示が出て写し込みが行なわれたことを知らせますが、写真上に“PRlNT”の文字は写し込まれません。

オートデート用リチウム電池の交換

1. カメラの裏ぶたを開けて、リチウム電池ケースのカバーのネジをゆるめてから、カバーをはずして下さい。
2. 新しいリチウム電池を(＋)側を上にして入れて下さい。
   使用のリチウム電池は3VのCR2025です。
3. 電池カバーをネジで確実に止めて下さい。
4. リチウム電池を交換時にデータ表示が変わったり消えたりすることがあります。
   その時には正しくデータをセットし直して下さい。

次のような時にはリチウム電池を新しく交換して下さい。

＊ LCDディスプレイが“ E ”を表示した時。
＊ 日付・時刻の写し込みが不鮮明になったり読みにくくなった時。
＊ 内蔵のデータバック用リチウム電池の寿命は製造の日から３年です。
＊ フィルムが入っている時にはリチウム電池の交換はしないで下さい。

仕様

型式	：	35㎜レンズシャッターカメラ パノラマ途中切り替え機能・デート機能自動フィルムセット・自動フィルム巻き上げ・自動フィルム巻き戻し・DXフィルム自動感度セット(lS0100-lS0400)
画面サイズ	：	24㎜×36㎜(13㎜×36㎜・パノラマ撮影時)
レンズ	：	コニカレンズ29㎜ F4(3群3枚)
焦点調節	：	固定焦点
撮影範囲	：	1.6m～∞
露出調節	：	自動露出内蔵
シャッタースピード	：	1/40秒～1/250秒
セルフタイマー	：	l0秒・警告ライト付
フィルム給送	：	自動巻き上げ・自動巻き戻し途中巻戻し可能
フィルム感度	：	DXフィルム使用により lS0100～1S0400自動感度セット
フィルムカウンター	：	LCD表示
フラッシュ	：	自動フラッシュ内蔵
電源	：	3Vリチウム電池(CR123A/DL123A及び同等品)
大きさ	：	115(幅)×64(高)×44(厚)㎜
質量(重さ)	：	160ｇ(電池・フィルム別)

指定以外の電池は、絶対に使用しないで下さい。上記性能については、当社試験条件によります。

仕様は改良のため予告なしに変更になることがあります。